

友の会だより

婦恋郷土資料館

2013年12月 No 18

年末のごあいさつ

有意義だった三十周年の諸行事

皆様のご協力をいただき、今年もいよいよお願ひごさす

婦恋郷土資料館

館長 黒岩 秀二



今年もいよいよ押し迫ってまいりました。友の会の皆さんをはじめ、日ごろから婦恋郷土資料館を応援してくださって

いる方々に、今年一年、本当にお世話になり、心より

御礼申し上げます。誠にありがとうございます。ありがとうございました。

特に今年は、天明三年の浅間山の大噴火から二百三十年の節目を迎え、さらには郷土資料館が開館して三十周年の佳節でもありました。十月五日には、開館三

十周年を祝う記念の行事を無事終えることができました。またそれを前後して六

月には「婦恋村文化財めぐり」、九月の「第

一七回十五夜お月見の会」、十月には、記

念誌『三十年の歩み』を発刊、十一月に

は村外研修として小諸を訪れました。い

ずれの行事、事業も大変に有意義なもの

となり、大成功であったと思います。こ

れも皆様のご協力、応援があつたればこ

そと、改めて心より感謝申し上げます。

さて明年は、資料館のさらなる発展を

期し、友の会、ボランティアガイドの皆

さんや、関係者の方々とも相談、斬新な

企画等も考えながら、ひとりでも多くの

人に愛され、親しんでもらえる婦恋郷土

資料館にして参る決意しております。皆様

のさらなるご協力、応援のほど、よろし

くお願い申し上げます。

最後になりましたが、どうかお一人お

一人が素晴らしい新年をお迎えになられ

るよう心から願っております。

婦恋郷土資料館新年の予定

▽仕事はじめ 一月四日(土)

▽ボランティアガイド打ち合わせ会 一月十四日(火) 13時から

資料館3階展望室

「婦恋学」講座について

▽村民が講師となり、婦恋村の歴史、文化、産業、自然、芸術、教育、民俗、生活などなど、婦恋村に関係するあらゆるジャンルを対象として、各自が得意とするところのものを発表、講師、受講者が互いに教え合い、学び合う公開講座の場とする

▽開催時期 平成二十六年二月～三月にかけて1、2回予定しています

▽開催場所 婦恋郷土資料館3階展望室

▽講師を募集 「婦恋学」講座の趣旨に従い、いずれかの部門の講師として

ぜひ発表したいと言う人は婦恋郷土資料館(TEL 97-3405)までお申し出ください

恒例の秋の村外研修

小諸ウォーキングを楽しむ



懐古園正面「三の門」

懐古園

嬬恋郷土資料館友の会（土屋澄隆会長）では、資料館開館

30周年の掉尾
11月20日、村
会長、黒岩秀二
州・小諸の地を
ここでは終
ドをお願いし、
見学しました。



園内の見事な紅葉

を飾る行事として
外研修を実施、土屋
館長らとともに信
訪ねました。

日ボランティアガイ
午前中は、懐古園を
「懐古園」は、小諸

城の三の門から本丸に至る城の中核部分を公園として整備された地域。ガ
んの案

い、小諸城、歴代城主ゆかりの武器
書、生活用具などが展示されている
館」—武田信玄の軍師・山本勘助ゆ



藤村の詩碑

イドさ
内に従
や古文
「徴古
かりの



小諸城の天守台

「鏡石」—千曲川を見下ろす「水の手展望台」—島崎藤村の「『千曲川旅情のうた』詩碑」—「藤村記念館」—文化勲章受章者で小諸市名誉市民だった洋画家の「小山敬三美術館」などを見学、充実した半日を過ごしました。

小諸の城下町

午後は、小諸城

下の町を散策。ことに北国街道沿いの本町、荒町、与良町には“商都”



旧小諸本陣



旧小諸銀行「萬屋骨董店」

と言われた小諸の代表的な商家が軒を連ねています。「旧小諸本陣」—幕末期に宿場の問屋として建てられた「山謙酒造」—江戸時代の建物の形をよくとどめた造り酒屋「大塚本店」—明治28年、小諸の豪商たちが力を合わせて開設した旧小諸銀行だった「萬屋骨董店」—「光岳寺」は、徳川家康の生母「於大の方（伝通院）」をとむらうためにひ孫にあたる小諸城主・松平憲良が建立。その後の城主・牧野家も同寺を菩提寺としたため、本堂の屋根には、徳



大手門

川、松平、牧野の三家の家紋が掲げられている。同寺の惣門は、小諸城内の足柄門を明治の初めにここへ移したもの。このほか「島崎藤村旧居跡」、国の重要文化財「小諸城大手門」などをめぐりました。



元小諸城内にあった足柄門